

第264回「学術講演会」のご案内

秋冷の候、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。

さて今回は2題のテーマで「学術講演会」を開催致します。

1題目は、人間の五感(視覚・聴覚・臭覚・触覚・味覚)の相互作用に関して、首都大学東京・市原名誉教授に研究内容と応用の可能性や、LED照明の研究から製品開発への官能評価のかかわりについて講演頂きます。また2題目は、先日の安倍首相とハーバー首相(カナダ)の会談でも話題になった、新たなエネルギー分野で注目されている“シェール・ガス”について、その開発最新状況やエネルギー問題全般について和光大学・岩間教授に解説頂きます。

皆さまお誘い合わせの上、多数ご来聴いただきますようご案内申し上げます。 (学術部会A)

記

1. 日時 : 2013年11月1日(金) 13:30~16:30 (13:00~ 受付開始)
2. 場所 : 学士会館(神田) 2F-202号室 (地下鉄神保町下車;参加申込書略図参照)
東京都千代田区神田錦町3-28 TEL;03-3292-5936
3. 講演

【講演-1】 13:30~14:50

「感覚の不思議 ~感覚研究の利用を考える~」

首都大学東京 名誉教授・(株)メディア・アイ 感性評価研究所 所長 市原 茂 氏

[要旨]

世の中に存在する物体には、視覚だけを刺激するものとか、聴覚だけを刺激するもの、あるいは、嗅覚だけ、触覚だけ、味覚だけというものは、およそ存在しない。ほとんどの物体は、複数の刺激特性を併せ持っており、実際には、2つ、あるいは、それ以上の感覚を同時に引き起こしている。それに呼応したように、それぞれの感覚は、まったく独立しているわけではなく、相互に影響を及ぼしあう関係にあることが、様々な研究により明らかにされている。本講演の前半では、感覚間相互作用に関する講演者等の研究を含めた様々な研究を紹介し、その応用可能性について検討する。

また、後半部では、LED照明を取り上げ、照明光が色見えに及ぼす効果に関する講演者等の研究を紹介し、製品の開発に官能評価がどんな形で関わることを考察する。

[講師略歴]

1972年 3月 千葉大学人文学部卒業

1980年 3月 東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程修了
(1987年 文学博士)

1980年 7月 東京都立大学人文学部助手

1981年 4月 中京大学文学部講師

1987年 4月 同 助教授

1991年 4月 東京都立大学人文学部助教授

1997年 4月 同 教授

2005年 4月 首都大学都市教養学部・大学院人文科学研究科教授(大学の組織変更のため)

2013年 3月 首都大学東京退職

2013年 4月 首都大学東京 名誉教授、客員研究員(現在に至る)

2013年 4月 株式会社メディア・アイ 感性評価研究所 所長(現在に至る)

【講演-2】 15:05～16:25

「シェール・ガス革命、シェール・オイル革命と日本および世界への影響」

和光大学経済経営学部教授 岩間 剛一 氏

[要旨]

米国を震源地とした国際エネルギー情勢の革命ともいえる大きな変貌が世界へと広がっている。それは、米国におけるシェール・ガスをはじめとした非在来型天然ガスの劇的な生産コストの低下による天然ガス生産増と、天然ガス価格の下落である。これは、米国の中堅石油企業による既存技術の組み合わせによる革命的ともいえる、非在来型天然ガスの生産コストの低下に起因する。安価で大量の米国のエネルギー革命は、米国経済復活の原動力となるとともに、世界の資源地図を塗り替える可能性も強まってきた。21世紀は環境の世紀、電力の世紀と呼ばれ、天然ガス需要は急増の一途を辿っている。エネルギーの世界における革命ともいえる、シェール・ガス、シェール・オイルの開発状況の最新動向と、安価なシェール・ガスを活用した米国企業の再生が進む中で、電力不足に直面する日本のエネルギー問題の解決、今後の世界のエネルギー動向と日本企業にとっての大きなビジネス・チャンスについて解説する。

(現職) 和光大学経済経営学部教授(資源エネルギー論、マクロ経済学、ミクロ経済学)
東京大学工学部非常勤講師(金融工学、資源開発プロジェクト・ファイナンス論)
三菱UFJリサーチ・コンサルティング客員主任研究員
石油技術協会資源経済委員会委員長

[講師略歴]

1981年東京大学法学部卒業

東京銀行(現三菱東京UFJ銀行)入行

東京銀行本店営業第2部部長代理(エネルギー融資、経済産業省担当)

東京三菱銀行本店産業調査部部長代理(エネルギー調査担当)

出向:石油公団企画調査部:現在は石油天然ガス・金属鉱物資源機構(資源エネルギー・
チーフ・エコノミスト)

出向:日本格付研究所(チーフ・アナリスト:ソブリン、資源エネルギー担当)

2003年から現職

[著書]

「資源開発プロジェクトの経済工学と環境問題」、「ガソリン本当の値段」、「石油がわかれば世界が読める」、その他、新聞、雑誌等への寄稿、テレビ、ラジオ出演多数

以上

日本化粧品技術者会東京支部 事務局 行
(FAX:03-6431-9126)

第264回 学術講演会(開催日:11月1日)参加申込書

参加者 氏名	該当に○ : 正会員、準会員、シニア会員、相談役・顧問、代理参加
	代理参加の方は、正会員のお名前もお書きください
	正会員名
会社名	
連絡先	TEL:
	FAX:

◇ 申込方法

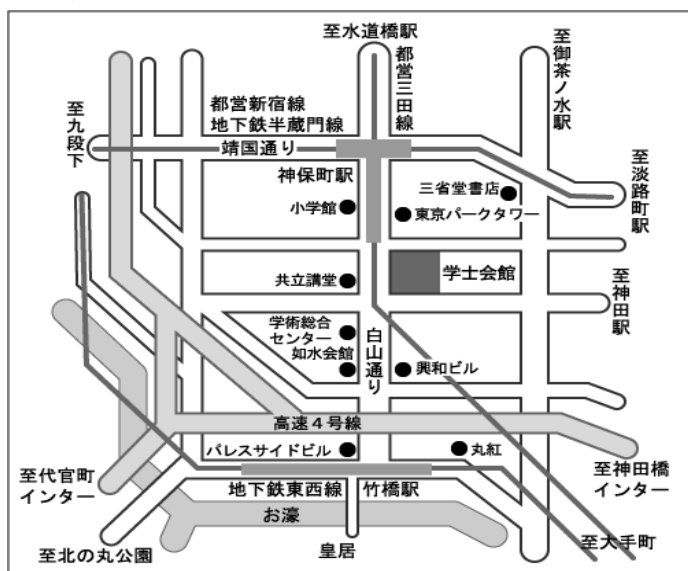
- 本申込書を事務局(03-6431-9126)にFAXして下さい。
- 参加費は無料です。
- 参加証は発行しませんので、特に事務局からご連絡(定員でお断りする場合)がない限り、参加可能です。
- なお、正会員の代理者(1名)の参加は可能ですが、準会員、シニア会員の方はご本人のみ参加可能です。

申込締切日:10月28日(月)(厳守)

会場定員になり次第、締切らせていただきますので、お早めにお申込下さい。

◇ お問い合わせ先 日本化粧品技術者会事務局(東京支部)(TEL:03-6431-9196)

◇ 会場(学士会館)略図



- ◇地下鉄 都営三田線/都営新宿線/東京メトロ半蔵門線 神保町駅下車(A9出口)徒歩30秒
- ◇地下鉄 東京メトロ東西線竹橋駅下車徒歩5分